

びとう和広後援会ニュース

2012.1.1

第31号

発行責任者
小倉義彦

今年も
安心と元気の三田めざして

全力疾走でがんばります!

参加者4106人

昨年12/18開催の
三田国際マスタース
マラソンの開始直後

明けましておめでとうございます。

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。皆様にとりまして、新年がすばらしい一年になりますよう心よりお祈りいたします。

昨年は、大津波を伴う東日本大震災はじめ台風被害など自然災害、それに伴う電力・放射能問題など人的災害、TPP や国防など外交問題、北朝鮮の総書記逝去など、いろいろな災害・事件がおこりました。今年は、昨年の漢字「絆」を強めて国難に立ち向かう「たつとし」になってほしいものです。

三田市では、竹内市長二期目が本格的に動き始めました。今年度で終了する第三次総合計画を受け、第四次総合計画の審議会が発足し、「人・まち・自然が輝く三田」に向けた計画の策定が進められています。その土台となる「まちづくり基本条例」も急ピッチで策定が進められています。

市議会では、10月24日役員改選があり、私も無事副議長を終えることができました。皆様のご支援の賜物と感謝しております。私なりに、**議員定数削減や議会広報など大きな改革を実現できた**自負はあります。また、新たに企画総務常任委員会委員長を拝命し、運営に頑張っております。

また、11月29日～12月16日に12月議会が開催され、補正予算や条例改正が承認されました。特に、**学校給食費徴収が市の事務**となり、教職員の負担軽減と不払い撲滅に向けた体制が作れます。また、障害者自立支援法に代わる(仮称)総合福祉法の早期制定を国に求めた**意見書**や公立高校の受験区分見直しで三田の子どもに**受験負担が過重に掛からぬように県に求めた意見書**が採択されました。

さらに、市議会として「議会基本条例」の制定に向け、市民の皆様へ説明会を開催することとなりました。

後援会では、10月15日三菱電機オータムフェスティバルに協賛し、くじ引きコーナーを開設しました。また、11月30日後援会ボウリング大会を開催しました。お忙しい中、多くの皆様のご参加ありがとうございました。

今年は市議会3期目挑戦の年となります。後援会の皆様にご挨拶にお伺いするとともに、後援会拡大活動を展開して参ります。これからも、精一杯頑張りますので、皆様の一層の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



三田市議会議員
びとう かずひろ
和広



びとう和広の一般質問

12月7日、会派「志民の会」を代表して一般質問をしました。

会派「民主党三田」は8月に再編し、「志民の会」として5人の最大会派となりました。人数が多い会派から代表質問できるルールにより、12月議会は質問議員の先頭に登壇させていただきました。久々の登壇でもあり、少しテーマを並べすぎましたが、歴年の課題を市長にぶつけることができました。(視点のコラム参照)

1.総合計画の課題

問:総合計画にあたり、現状分析が示された。人口減少の予測に対し、12万人までの成長を図っている。しかし、現在の現状分析では、各区域の課題や地域格差が把握されていない。市はこの課題をどう捉えているのか。また、地域格差をどう是正し、どのように持続可能な三田にするのか。そのためには三田の成長を維持し、転入を受け入れる土壌が必要であり、その条件項目をどう進めていくのか。

(1)市街化調整区域の課題

ア)駅周辺市街地整備

市:JR各駅周辺は、各まちづくり協議会が組織され、地区の課題解決に向けた取り組みを市が支援している。

相野駅周辺は調整区域のまま、駅を中心に面積約50haを対象に、ほ場整備・土地区画整理・集落地区計画の3つの手法で進め、来年度集落地区計画の都市計画決定し、ほ場整備事業の着手を予定している。

広野・新三田駅周辺は市街化区域に編入を図り、土地区画整理事業に取り組む予定。

イ)北部の地域課題

市:豊かな農地・自然の適正な保全と地域生活の維持を図れる土地利用を第4次総合計画の方向とし、都市計画マスタープラン等と整合を図りつつ具体的に検討する。

調整区域内にも、現在建築可能な暫定措置7団地(130戸)、旧住宅地造成事業の開発4団地(60戸)などがある。どの団地も進展していないが、民有地であり、現在の社会情勢において、市は見守るしかない。

(2)三田駅周辺市街地の課題

ア)密集地対策

市:まちづくり推進連絡協議会と連携を図り、一体的に検討を進める。

イ)商店街活性化と高齢化対策

市:商店街は高齢化と後継者不足などで店数減・にぎわい低下などに直面している。今後、市街地再開発事業などのハードと集客力向上のソフトを一体的に進めるが、自らの取り組みが大切で、県や市商工会などと連携し、支援する。

(3)ニュータウンの課題

ア)未利用地の活用計画

市:持続可能な発展を考えながら、UR都市機構や県企業庁と協議しながら宅地分譲を推進する。

イ)高齢化と独居世帯の対策

市:今後団塊世代が多い三田は急速に高齢化する。地域のつながりが一層重要で、コミュニティ向上に市としても応援する。

(4)定住促進と空き家対策

市:市として、地域担当制を導入し、それぞれの特性に応じて対応する。

(5)シティセールスのあり方

市:「子育てするなら絶対三田」を積極的にPRする。「住みやすい街ランキング」の高位置を維持努力する。

(6)市民参加・参画のあり方

市:審議に公募を義務付けしているが、委員を含め顔ぶれが固定化しているとの指摘もある。無作為抽出による参加者募集などいろいろな手段を検討していく。三田の資源である「ひと」を輝かせる市民主体のまちづくり実現に向け、総合計画とまちづくり基本条例の策定を急いでいく。

(7)第二テクノパーク・雇用対策

市:第一工区30haは、2012年3月頃には造成区画が完成し、早ければ2012年夏頃には工場建設が可能である。事業者と連携して企業誘致を進める。ハローワーク三田管内では2011年10月の有効求人倍率0.42で県平均0.60より厳しい。関係機関と連携を強化しながら雇用創出を図っていく。

2.大学生の三田定着

問:三田に若い世代が定着しにくい実態がある。三田にある大学に通学する大学生が三田の魅力を知り、三田に就職や定着をしてもらう、或いは、第二の故郷にして三田の宣伝をしてもらうためには、学生の滞在時間、できれば三田在住を増やすことが肝要と考える。

市:三田には関西学院大学神戸三田キャンパスと湊川短期大学合わせ約5千人通学し、その内3割が下宿生で、民間事業者と連携した下宿やアルバイトの斡旋で支援されている。カフェやファーストフードのようなしゃべり場の要望は高いと認識している。

3.個人情報のあるあり方

問:市の持つ情報には個人情報ははじめ、重要事項が多くみられる。情報の取り扱いについての課題を問う。

(1)「本人通知制度」の導入

(戸籍謄本や住民票の写しなどの第三者取得を本人に通知する制度)

市:個人情報不正取得やDV等の対策に「本人通知制度」は有効と考え、住民基本台帳法や個人情報保護条例との整合等を調査し、来年度にシステム改修でき次第導入したい。

(2)市庁舎内のセキュリティ体制

市:セキュリティは、現在もルールに基づき運用しているが、念のため、新庁舎建設時には、職員用口を設け、IDカードを採用する予定。

4.放射能対策

問:一番の恐怖は「未知」という。目に見えない放射線や放射能の現状と影響が未知のため不安になる。現段階の検査では問題ないと聞いているが、安心・安全に向けた取り組みの一環として、放射線・放射能に対する現状と今後の体制を問う。

市:県の調査により兵庫の食品は安全であると検証された。市内では、消防署に測定器があるが、緊急用で定期的な測定には用いない。現段階では、県の測定結果で十分と考える。

2011年の三田市政

2011年を振り返ってみました。

月	概要
1月	子育てするならゼッタイ三田 ホームページ等で発信 ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防のワクチン無料接種を開始
2月	地産地消認定応援店制度スタート
3月	キッピーモール全床がフルオープン 都市計画道路高次線竣工 東日本大震災への支援活動開始
4月	城山公園球場の愛称「キッピースタジアム」 有馬富士共生センター内にサービスコーナー新設 三田駅北口バスのりばから路線バス運行開始 消防署東分署の開署 乳幼児等医療費の年齢拡大と所得制限の撤廃 認定こども園の拡充 市税や水道料金等のコンビニエンスストア収納業務開始
5月	全国花のまちづくり三田大会開催 救急医療情報キット配布(モデル地区:9地区)
7月	里山づくり構想発表(フラワータウン南公園をまちなか里山公園に) 鳥羽市と友好都市調印、海と山の九鬼氏・交流フォーラム
7月	市民病院300病床全稼働
8月	新庁舎建設基本計画の公表 水道料金の引き下げ(基本料金を平均10.2%引き下げ)
8月	赤ちゃんの駅(授乳・おむつ交換スペース)スタート
8月	「元気なふるさと三田」に向け、竹内市政2期目スタート
8月	三田市の人口11万5000人を突破
9月	市民病院免疫内科外来の開設
10月	三田バル開催 市民病院駐車場増設、クレジットカード払い導入
10月	市公式フェイスブック開始
11月	三田ファームマイレージ運動スタート 三田駅北口行きバスが市役所前まで運行 三田駅前再開発Bブロックの特定業務代行者が決定 三田学・鳥羽学検定 三田市観光大使キッピーとハッピー結婚 キッピー原付ナンバープレートを交付 駅前子育て交流ひろばの開所
12月	市民病院鼻外来の開設

2012年はどうなる？

「元気なふるさと三田」に向けた主な取り組み

1. 若い世代の転入と定着

子育てするならゼッタイ三田の実現

①待機児童ゼロをめざす

- ・ 施設改善(2園で20名の定員増)
- ・ 新たな保育補助制度の創設

②放課後の居場所づくり

- ・ 預かり保育の試行開始(三田・広野幼稚園)

③学校教育の充実

- ・ 増員(学力向上支援員・理科教育推進員等)
- ・ 環境整備(トイレ改善・特別教室の空調等)

2. 協働のまちづくり

- ①まちづくり基本条例制定…市政推進ルール
- ②地域担当職員の配置…各地域対応
- ③次期(第4次)総合計画策定…10年後の目標
- ④新庁舎実施設計…2013年3月着工予定
- ⑤ふれあいと創造の里新館 2015年1月開館

3. 産業の活性化

- ①第二テクノパーク販売開始…新年3月より
- ②地産地消プロジェクトの充実
- ③資源・財産・人材を活かしたまちづくり



びとう和広の視点

■<初心に帰る>

関連会社の労働組合活動誌に私へのインタビューが掲載されました。その中で、どうして議員になったのか、と聞かれ、当時天神公園の桜が伐採され理不尽さを感じた例を挙げ、三田の現在と将来のために言うべき場が欲しかった、と答えました。そう、私は**自分の子どもたちに三田で生まれ・育つことに誇りを持ってもらえるまちにしたかった**ことを思い出しました。

早いもので、皆様に市議会に送り出していただいて、8年目を迎えました。初心に帰って、とよく言いますが、私の初心はここにあったのだ、と気づかせていただきました。安心して**住み・働き・憩い・学び続けられる元気なまち・三田**。3期目の挑戦にあたり、今までの活動検証をする所存です。

■<一般質問について>

左ページの一般質問は、議員として進めてきた課題のまとめでした。

総合計画はまさに10年後の三田をどう見据えるか。市街化調整区域と市街化区域は**見直しの好機**です。

大学生の三田定着は、三田の街の弱点を象徴したものです。娯楽施設とは言いませんが、**若者の息抜き**の場と**地元の人たちとの交流**こそ、三田への愛着だと考えるからです。

個人情報は守るべき大切なものですが、逆に過剰な反応での問題もあります。今回はしっかり守ることを確認しました。

そして、**放射能**。まさに**諸刃の剣**。きちんと制御できれば高能力のエネルギーですが、今回のように想定外では恐怖となります。一度測定し、**定量化**しておくことが、これからの対策や安心のためにも、重要と考えます。

今回の市の答弁で気になったことがあります。それは「民の問題だから手を出せない」、「県がやっているから問題ない」、といった第三者的発言です。市街化調整区域も、空き家対策も、大学生の定着も、**市がもっと関わっている**と思います。関わる人が三田に誇りを持てる、事業に自信を持てる、そのような**仕組みと体制作り**が大切です。これからも、議会から**意識改革**を訴えます。

副議長最後の仕事 10/24



10月24日臨時議会市議会役員改選。議長選のため、議長席に着きました。

びとう和広後援会より

後援会では、10月15日開催の三菱電機オータムフェスティバルに協賛し、くじ引きコーナーを開きました。多くの方に声をかけていただきました。ご参加・ご協力ありがとうございました。

11月30日スーパーボウル三田において、後援会主催ボウリング大会を開催しました。一昨年は10月の副議長就任により、スケジュール調整がつかず、開催できなかっただけに、お忙しい中、たくさんのご参加に感謝しております。

オータムフェスティバルに協賛



今年はいよいよ三田市議会改選の年です。びとう和広にとりましては3期目に向けた挑戦となります。2期8年間の実績をご報告するとともに、皆様のご意見・ご要望をお聞きし、将来に向けた三田の課題を整理し、政策として、市政・県政・国政に提言してまいります。

そのためにも、今まで以上に後援会の皆様のお宅にご挨拶にお伺いするとともに、一層の後援会拡大活動を展開してまいります。市政に対するご意見・ご要望をお聞かせいただくとともに、お知り合いをご紹介いただければ幸いに存じます。

後援会の行事としては、2月4日三菱電機労働組合三田支部との共催でカニツアー、3月三菱電機三田製作所構内市政報告会、4月びとう和広後援会総会などを予定しています。ご参加・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気活力のある三田に向け、精一杯頑張ってお参ります。皆様の一層の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

後援会行事ボウリング大会



後援会会長挨拶

新年あけまして、おめでとう御座います。

後援会会員の皆様方に於かれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えになったこととお喜び申し上げます。又、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難う御座います。心より厚くお礼申し上げます。

早いもので『びとう和広』は、市議会に送り出して頂いてから7年が過ぎました。今年、3期目に向けた新たな『挑戦の年』となります。更に後援会の輪を広めたいと願っています。

さて、昨年は、大変厳しい情勢下では御座いましたが、市議会副議長として、無事に重責を果たしてくれました。また、三田市民に応えるべく議会改革活動を精力的に進め、後援会活動とあわせて、力強く邁進しています。

『びとう和広』は、これからもより多くの皆様のお声を頂戴し、問題解決に向け、全力で活動する所存で御座います。何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻を宜しく願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

びとう和広後援会会長 小倉 義彦

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部 気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitto-kazuhiro.com>